



明るい家庭はまず健康

積極的な健康づくりを考えてもらおうと、南国市主催の「第4回健康づくり講演会」が10月24日、市農協会館で行われ、約220人が参加しました。

今回は「お母さんは宇宙人」と題して、橋幸夫さんが講演。家族として母親の痴呆を体験したことを通して、痴呆性老人に対する接し方、よりよい介護の方法について話しました。

会場では、車椅子や介護用品等の福祉機器展や、市が主催する「リハビリ教室」の作品展なども行われました。

高知市も仲間入り

東京一極集中の是正と地方の活性化を目的とした地方拠点都市整備法の地域指定は、いよいよ正念場を迎えています。

南国・香美地方拠点都市地域指定推進協議会（大町行治会長）は、11月11日総会を開き、高次都市機能の整備が求められている高知市を含めたエリアを拠点都市とする、県の考えを受け入れる決定をしました。

今後は、協議会の名称を「なんごく・こうち地方拠点都市地域指定推進協議会」に改め、12月中に決定される予定の一次の地域指定に向けて、再スタートを切りました。



ぼくんちおいでよ☆

11月1日から3日まで、市民体育館を会場に、第二十回香美・南国建築祭が開かれました。

これは建築のいろいろなことを、一般の人にも知ってもらうことを目的に、県建築士会と県建設労働組合の香美・南国支部、市建築協会などの主催で行われたもの。

建築会社、設計事務所、材料店など50社ほどが家に関する資材、機器を展示、また、藪子木工あそびや大声大会、フラフープ大会なども行われ、たくさんの方が足をとめ楽しんでいました。



商工祭り大盛況!!

県内初の常設テントが完成した大浦の土曜市会場で、その落成記念も兼ねて、「第十六回商二祭り」が十月三十一日に行われました。これは南国市の活性化のために市商工会（吉村雅男会長）が主催して毎年実施しているもの。テント内では、市土曜日協同組合（中村朋子理事長）や地元商工会青年部など約九十の出店が立ち並んだほか、土曜市の姉妹市である愛媛県広見町の近永日曜市も友情参加。カラオケ大会やもち投げなども行われ、大勢の人出でにぎわっていました。



カメラリポート



芸術の秋

十月十八日から二十五日まで、文化・芸術を愛しむ市民らでつくる南国市文化推進協議会（島村辰彦会長）の主催で第一九回南国市文化祭が行われました。会場となった市民体育館には日本画や洋画、書道などの作品が展示されました。また茶道の会員によるお茶の会もなされました。最終日には歌や舞い、器楽演奏など、演芸部門の発表が行われ、訪れたお客さん約二百五十人を楽しませました。



自慢の娘

11月10日、J A南国市野田支所で乳牛共進会が開かれました。

市と市酪農振興協議会の主催で行われたこの催し、今年は発育牛や経産牛など合わせて25頭が参加。審査員が発育状態や体形、全体のバランスなど一頭一頭細かく審査。

会場を訪れた酪農家の方たちは、牛の体重当てクイズを楽しんだり、情報交換をしたりしていました。



10月14日、市民体育館で第11回土佐長岡郡・南国市身体障害者大運動会が行われました。

これは障害を持った方が公の場に出ることを目的に、南国市身体障害者連絡協議会（畑山善郎会長）と高知県身体障害者連合会（同）の主催で開かれたもの。

参加した6チーム、約120人の方たちは、輪投げや玉入れの他、工夫を凝らした競技を楽しく行いました。

みんなで楽しく運動会

皇太子さま いらっしやい



第十六回全国育穂祭のため来高されていた皇太子さまが、十一月二日、高知最後の視察を廿枝の、県立農業技術センターで行われました。皇太子さまはバイオテクノロジーの研究やガラス温室を見学され、アフリカ産の珍しい花などをご覧になりました。高知での全日程を無事終えられた皇太子さまは高知空港から帰途につかれました。